



園だより ~きづき~

キ3園 第40号

2024 10月号

キッドワールドサード保育園

園長 是永 妃富

厳しい日差しも和らぎ秋晴れの下、こどもたちの元気な声が園庭に響いています。この季節の爽やかな風が頬をなでて過ごしやすい日々がやってきました。少しずつ朝、夕の寒暖差が出てきますので体調管理に気をつけながら、過ごしていきたいと思います。

先月の「おまつりごっこ」では、ご参加いただきありがとうございました。保護者の方と一緒に参加して、嬉しそうなこどもたちの表情を見ることができました。ほのぼのとした気持ちになりました。心よりお礼申し上げます。

さて、次は11月2日(土曜日)に運動会ごっこを予定しています。よろしくお願い致します。詳細については、後日配布致しますのでご確認ください。



今月の行事予定

- 10日(木) 身体計測
- 12日(土) お弁当日
- 17日(木) 健康診断
- 25日(金) 避難訓練
- 11/2(土) 運動会ごっこ



10/12(土)

は弁当日です



お願い・・・ご家庭に新聞紙がありましたら持ってきて頂けると助かります。運動会で使います。ご協力をお願い致します。

おまつりごっこ

楽しい遊びコーナーがいっぱいでした。

本物みたいな物にびっくり😊

笑顔を見ることができました。



[こどもたち]



① ある日のこと、カラスの一家が朝から何やらさわいでいます。グギャア、グギャアではなく、大人のカラスの泣声です。そしてクヌギの木の横の電線にとまった 2 羽のカラスがくちばしで電線を激しく叩いています。カアカアと大きな声をあげています。

何事かと外を見ると、小さなカラスの子が庭を右往左往しています。クヌギの木の巣から、転げ落ちたにちがいありません。足元もおぼつかない様子で、ただ庭をうろうろと歩き回っています。



② まだ、飛び立つことはできないのでしょう。親たちは、必死で電線をカンカンと叩いて呼んでいます。

しばらくするとそんな様子が続きましたが、子カラスは次第に疲れてきた様子です。庭の片隅にうずくまったり、また少しだけ歩き回ったりを繰り返しています。子カラスは電線まで飛び上がる力がまだありません。

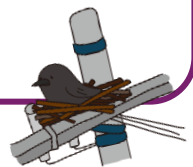
③ 私は意を決して、カラスの子を隣の広い空き地の草むらに移動させることにしました。でも、身近なカラスでも、触ったことはありませんし、ましてやこの手で抱き上げ日がくるとは思いませんでした。私が近づいていくと狭いに庭を逃げ回ります。



④ グギャアと鳴きます。すると、親たちが一斉に電線をカンカン叩きます。グギャグギャカンカンです。でも私も必死です。最後に追い詰めた庭の片隅でついに両手で子カラスを捕まえました。なんと小さいのでしょう。そして、なんて柔らかく軽いのでしょう。小さな口を開けてグギャアと一声叫びましたが、その後はおとなしく私の両手の中に身をゆだねました。私はそっと隣の草むらに子カラス置きました。動きません。疲れきってしまったのか、ぐったりとしているようでした

⑤ 夕方の散歩に出るときに、そっと覗くと草むらには姿が見えなくなっていました。でも親たちは相変わらず電線と隣の屋根にいます。ふと隣の家の庭をみると、その隅に子カラスがいました。親たちが見守ってくれていれば、多分大丈夫でしょう。翌朝にはその場所にはいませんでしたが、隣庭から物置の屋根まで飛びあがれたのですね。もう、大丈夫です。

⑥。しばらくして、一羽のカラスが我が家に毎日やってくるようになりました。クヌギの木のてっぺんの巣のあたりで小さくグアーと鳴いたり、クヌギの横に生えている低い木の中に潜りこんだりしています。あの子に違いありません。「あのてっぺんから落ちたけど、この木の枝にひっかかって庭に落ちたなあグアー」そんなふうに振り返っているのでしょう。ひとしきり遊ぶと「またあした、グアー」と小さく鳴いて飛びたって行きます。カラスだって鳴くのにはきっと意味があるに違いありません。



日本ウィルネススポーツ大学教授 健康教育学者 近藤 卓先生のお話です。

・近藤先生の手でカラスが助かりました。カラスも子どもを守るのに必死でした。そして助けてくれた人に感謝を忘れない、カラスが鳴くのにも意味があるということがわかりました。

(少しカラスを見る目が変わりました)

どんな動物の親もこどもを守るために力を注いでいます。

こどもたちが泣いているときは、お腹がすいた、おむつが汚れた、眠い、甘えたい・・・等様々です。泣いて訴える赤ちゃんには、気配りをしています。

1・2 歳になると表情や言葉で知らせてくれます。こどもたちの思いを受け止めて寄り添っています。健やかに育つように、私たちの願いです。

